

地方創生交付金対象事業等の実施結果について

No	① 交付対象事業の名称	② 事業概要	③ 2019年度の交付金額 (千円) (事業費の1/2)	④ 本事業における目標値			⑤ 当初数値		⑥ 最新実績値の 年度目標値	⑦ 最新実績値			⑧ 実績値を踏まえた事業の今後について		⑨ 外部有識者からの 評価 (事務局案)		
				指標	数値	単位	年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2019年度	2020年度				
1	民間交流から始まるインドネシアおともだちプロジェクト (地方創生推進交付金事業)	・旅行者、教育機関、自転車愛好家など民間で始まっている播磨とインドネシアの連携を強化 ・本市の強みである①姫路城②サイクリング③雪・スキー場④豊穡の国はりまを主なツールとして、官民による運営組織を設立し、文化、教育、観光、産業など多方面からの交流を推進	10,365	指標①	インドネシア人の観光消費額	350,000	千円	2019年度	327,376	2016年度	350,000	833,816	2019年度	○地方創生に非常に効果的であった ○事業の継続	ムスリム対応等の個別指導を引き続き実施するなど、フードダイバーシティを推進する。	○総合戦略のKPI達成に有効であった	
				指標②	日本・インドネシア間のツアーの数	5	ツアー	2019年度	0	2016年度	5	10	2019年度				
				指標③	ムスリムフレンドリー事業所数 (個別指導した事業所数)	15	事業所	2019年度	0	2016年度	15	21	2019年度				
2	酒米の王様・山田錦を擁する日本酒のふるさとはりまプロジェクト (地方創生推進交付金事業)	・播磨は酒米の王様「山田錦」の生産地であることや豊かな自然が生み出す名水により、多くの酒蔵が集まる酒造りの地 ・日本酒及び山田錦の特性や歴史を分析し、新たな魅力を発掘する。	7,071	指標①	清酒製造業の製造品出荷額等(千円)	1,938,827	千円	2019年度	1,762,570	2014年度	1,821,322	1,939,260	2016年度	○地方創生に効果があった ○事業の継続	さらなる事業を展開し、日本酒及び山田錦の特性や歴史を分析し、新たな魅力を発掘する。	○総合戦略のKPI達成に有効であった	
				指標②	総入込客数	10,296,000	人	2019年度	10,266,000	2016年度	10,286,000	9,149,000	2018年度				
				指標③	「豊穡の国・はりま」のブランドのうち酒蔵の登録団体数	10	団体	2019年度	4	2016年度	10	8	2019年度				
3	空がつなぐまち・ひとつくり交流事業 (地方創生推進交付金事業)	・加西市、大分県宇佐市、鹿児島県鹿屋市と連携し、平和都市ブランドを通じたPR事業の展開	500	指標①	平和資料館の来場者数	18,500	人	2021年度	17,000	2016年度	17,700	15,585	2019年度	○地方創生に効果があった ○事業の継続	4年度計画のため、引き続き事業を継続する。	○総合戦略のKPI達成に有効であった	
4	こころとからだと農業を元気にする「ハーブの里山プロジェクト」 (地方創生推進交付金事業)	ハーバルヘルスツーリズムの推進と、新規就農者育成支援型市民農園の整備により、特産物の6次産業化及び担い手育成を図るとともに、滞在型観光の拠点賑わいを創出する。	49,702	指標①	山之内地区での交流人口	30,000	人	2021年度	10,000	2018年度	15,000	11,000	2019年度	○地方創生に相当程度効果があった	3年度計画のため、さらなる事業を展開し、ハーバルヘルスツーリズムの推進と新規就農者の育成に努める。	○総合戦略のKPI達成に有効であった	
				指標②	山之内地区でのハーブの耕作面積	5	ha	2021年度	3	2018年度	3.5	5	2019年度				
				指標③	農園からの新規就農者数	12	人	2021年度	0	2018年度	0	0	2019年度				
5	姫路市伊勢自然の里・環境学習センターの整備 (地方創生拠点整備交付金事業)	講義室棟の拡張やジャコウアゲハとカブトムシの森の新設、歩路のインターロッキングにより、学校等団体利用がしやすい施設に整備する。	交付金は2017年度のみ	指標①	伊勢自然の里・環境学習センターの利用者数	12,600	人	2020年度	11,491	2015年度	12,500	15,569	2019年度	○地方創生に相当程度効果があった	○予定通り事業終了	施設整備は2017年度に完了。引き続き市外学校からの利用受入れ増やすことなどにより交流人口の増加を目指す。	○総合戦略のKPI達成に有効であった
				指標②	伊勢自然の里・環境学習センターの市外学校からの利用受け入れ校数	16	校	2020年度	6	2015年度	13	7	2019年度				
				指標③	環境学習イベント等への市外からの参加者数	89	人	2020年度	24	2015年度	69	409	2019年度				
6	姫路城周辺の保全・環境整備 (企業版ふるさと納税事業)	イオン(株)からの寄付金を活用し、姫路城及びその周辺の整備やサムライガーによる環境啓発活動を行う。	-	指標①	姫路城の外国人観光客数	312,000	人	2019年度	306,000	2017年度	312,000	395,003	2019年度	○地方創生に非常に効果的であった	○事業の継続	地域再生計画を更新し、引き続き姫路城の保全・継承事業を展開する。	○総合戦略のKPI達成に有効であった

選択肢	<input type="checkbox"/> 地方創生に非常に効果的であった <input type="checkbox"/> 地方創生に相当程度効果があった <input type="checkbox"/> 地方創生に効果があった <input type="checkbox"/> 地方創生に効果がなかった	<input type="checkbox"/> 追加等更に発展させる <input type="checkbox"/> 事業内容の見直し(改善) <input type="checkbox"/> 事業の継続 <input type="checkbox"/> 事業の中止 <input type="checkbox"/> 予定通り事業終了	<input type="checkbox"/> 総合戦略のKPI達成に有効であった <input type="checkbox"/> 総合戦略のKPI達成に有効とは言えない
-----	---	---	--